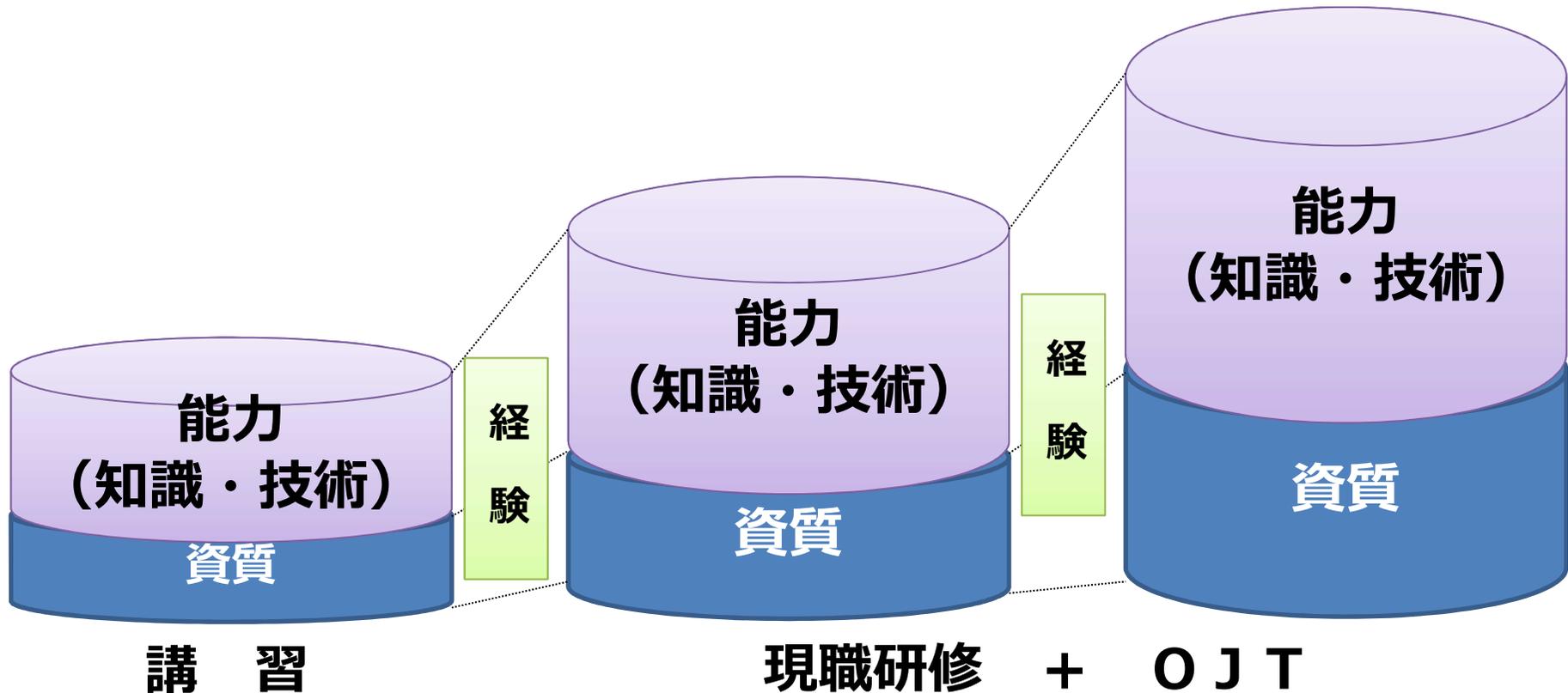


《『資質』『能力』『知識・技術』の整理》

「知識・技術を身につけることで発揮されるのが能力」と捉える。「資質」には、生まれつきの性質・才能という意味や、意識・意欲というマインドに関するニュアンスが強い。

講習及び研修で身につけるものは主に知識・技術ではあるが、知識・技術を身につけることで資質の向上にもつながると捉え、そのことにも考慮したカリキュラム内容とする。



社会教育主事の果たすべき役割

【社会教育主事の職務（社会教育法第9条の3）】

- 社会教育主事は、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える。ただし、命令及び監督はしてはならない。
- 社会教育主事は、学校が社会教育関係団体、地域住民その他の関係者の協力を得て教育活動を行う場合には、その求めに応じて、必要な助言を行うことができる。

【前回の中教審生涯学習分科会〈10/9〉提出資料】

- ①住民の主体的・自律的な課題解決活動・地域づくり等における学びを通じた支援
- ②学校・家庭・地域の連携促進



人づくり

- 人々の自発的な学習活動の支援を通して、地域を担う人材を育成する。

地域づくり

- 住民が主体的に地域課題の解決や、地域づくりに向けた行動ができるよう、学びを通じて支援する。

ネットワーク
づくり

- 学校・家庭・地域の連携を促進するなど、地域の様々な主体の連携・協働体制を整備する。

社会教育主事に求められる資質・能力及びそのために身につけるべき具体的な知識・技術について（案）

社会教育主事に必要な力・知識【専門職として持つべき（持つことが望ましいコアな力・知識）（前回分科会〈10/9〉提出資料）	能力	知識・技術（ ■主に知識のみ）	資質	
①学びの支援	社会教育経営力 (マネジメント能力)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会教育に関連する法律・答申・動向（歴史的変遷）に関する知識 ■ 社会教育行政の展開に関する知識（研修の企画・実施を含む） ■ 社会教育施設に関する知識 ■ 会議運営に関する知識 □ 諸計画・施策の企画立案に関する知識・技術 □ 評価実施に関する知識・技術 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションマインド ○ 好奇心、探求心、チャレンジ精神 ○ 積極性、ポジティブシンキング ○ 困難に立ち向かう姿勢・あきらめない気持ち ○ リーダーシップ、先見性、先駆性 ○ 共感する心等 <p style="text-align: center;">上記“資質”については、講習、現職研修、OJTを通して知識・技術を身につけることで向上していくと整理。</p>	
②傾聴、カウンセリング（マインド）				学習支援能力
③社教主事としての課題発見力・営業力	把握・分析能力	<ul style="list-style-type: none"> □ 地域課題の把握・分析に関する知識・技術 □ 学習課題、学習要求の把握・分析に関する知識・技術 □ 教育資源の把握・分析・活用に関する知識・技術 □ 情報収集に関する知識・技術（傾聴・カウンセリングを含む） 		
④地域資料・郷土資料や、行政資料の利活用				ネットワーク構築能力
⑤他の人が持つ上記の力を評価・判断する力 ※自分でもある程度上記の知識・技能・運用能力を持つことが前提	発信・提案能力 (アイデア創出、発想力)	<ul style="list-style-type: none"> □ 広聴・広報に関する知識・技術 □ 企画提案に関わるプレゼンテーションに関する知識・技術 		
⑥ネットワーク関係	基礎基盤的な能力	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生涯学習の意義と生涯学習社会の構築に関する知識 ■ 社会教育の意義と特性に関する知識 ■ 社会教育の内容・方法と指導者に関する知識 ■ 社会の諸問題及び新しい動向に関する知識 ■ 学校教育に関する知識 ■ 家庭教育に関する知識 		
⑦市民協働、住民自治関係				
⑧関係政策・制度関係の知識				

※受講者が基本的な知識を身につけるとともに、ワークショップ等を通して理解を深め、定着させることを目指す。単なる知識の提供とならないように留意する